

NARO RESEARCH PRIZE 2017

低温要求時間が短く

早生で品質優良なモモ新品種「さくひめ」

八重垣英明、末貞佑子、澤村 豊、土師 岳

(果樹茶業研究部門 品種育成研究領域)

研究の目的・背景等

モモが春に発芽・開花するためには、冬季に一定時間以上の低温にさらされる必要がある。現在、加温栽培に取り組む一部の地域で低温不足による発芽不良が問題となっており、今後、温暖化が進行して冬季の気温が上昇すると、モモが開花せず、栽培が困難になる地域が増加する恐れがある。そこで、低温要求時間が短く、かつ果実品質に優れたモモ品種の育成を目指した。

研究の概要

ブラジルから導入した低温要求時間が短い品種「Coral」と、果実品質に優れた早生品種「ちよひめ」などを交雑して新品種「さくひめ」を育成した。

「さくひめ」は、低温要求時間が我が国の主要品種の約半分と極めて短く、今後、温暖化により冬季の気温が上昇しても、安定した開花が期待できるため、温暖化の影響を受けにくい画期的な品種として有望である。また、果実品質は早生の主要品種「日川白鳳」並に優良で、「日川白鳳」より5日程度早く収穫できるため、早期出荷による収益性の向上も期待できる。

「さくひめ」および主要品種の低温要求時間

品 種	低温要求時間*
さくひめ	555
日川白鳳	1173
あかつき	1176
川中島白桃	1208

*自発休眠から覚醒するために必要となる7.2℃以下の低温に遭遇する時間(h)の合計(つくば市における2012～2015年の平均値)



「さくひめ」の果実

「さくひめ」の特性*

品 種	開花盛期	収穫盛期	果実重 (g)	果皮の地色	果皮の着色	果肉色	糖度 (%)	酸度 (pH)
さくひめ	3/27	6/26	253	緑白	やや多	白	12.8	4.62
日川白鳳	4/5	7/1	250	緑白 ～白	多	白	12.2	4.34

*農研機構(つくば) 2013～2015 無袋栽培の結果



八重垣英明 末貞佑子 澤村豊 土師岳